

学生の確保の見通し等を記載した書類

1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

① 定員充足の見込み

今回の本学家政学部食物学科食物学専攻の入学定員は、現在の50名から30名増員して80名とし、栄養士法施行規則に定める「同時に授業を行う学生又は生徒の数は、おおむね40人であること。」の2倍で、2学級40名体制とする考え方で設定してある。

本専攻の過去5年間の志願者数は、近年の景気低迷に起因する就職状況の悪化から受験生の「資格志向」や「学部志向」などもあり、資料のとおり、十分な志願者を集め定員を充足することが出来ている。今後も雇用形態の多様化や雇用状況の急激な改善が難しいことなど、厳しい就職環境が予想されることなどもあり、就職に直結した栄養士資格が取得できる本専攻を希望する受験生の傾向は変わらないものと考えられ、入学定員を80名としても十分学生を確保できると見込んでいる。

② 定員充足の根拠となる調査結果の概要

収容定員を変更する本専攻の入学志願状況は、前述の資料1のとおりであり、過去5年間の平均志願者数は351名、平均志願率は7.0倍となっている。

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

過去3年にわたって本学の食物学科を受験した首都圏の受験生の出身校所在地は、資料2のとおり、千葉県、埼玉県に比べ神奈川県からの受験者が少ないことがわかる。これは1年次に狭山台キャンパス（埼玉県入間市）に通学しなければならないことが影響していると考えられるが、平成27年度に千代田キャンパス再開プロジェクトⅡ期工事が完了し、千代田キャンパスで1年次から4年次まで一貫して学ぶことが出来るようになると、これまで受験者の少なかった神奈川県からの受験者増が見込まれる。また、受験生を対象としたオープンキャンパスにおいても、千代田キャンパスへの集約については、頻繁に受ける質問事項であり、受験生の関心の高さを窺うことができることから、その結果として、神奈川県だけではなく、これまでの一定の志願者を確保している千葉県、埼玉県といった隣接県からの受験者増にも繋がる事が期待できる。

なお、入学者の質については、既述のとおり高い志願率を確保しているが、養成施設として入学定員を厳守することを念頭に合否ラインを設定しているため、これまでボーダーライン直下の、僅差で合格としても何ら問題のない、むしろ定員が許せば合格としたい成績を修めている受験生を受け入れることができなかつたという入学試験の選抜状況を踏まえ、一定の質を維持できる範囲で増員数を設定していることから、AO入試、公募推薦入試、一般入試など各種入試を適切に組み合わせて実施することで入学定員増を行っても現在の学生の質を確保できるものと考えている。

2 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

食と健康に関する科学的な専門知識や技術を学び、食にかかわる企画・開発のための創造的思考を培うとともに、自ら率先して行動する力・探求する力を身につけ、栄養士の資格を有する食の専門家として高度な技術と知識を持ち真摯な姿勢を持って社会に貢献できる人材を育成することとしている。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

現代日本は、情報技術の目覚ましい進展によりインターネットが普及した結果、食に関する情報についても容易にアクセスできるようになったが、その反面、多くの情報が巷間に氾濫し、専門知識なしでは必要な情報を取捨選択することが困難な状況になっており、また、「豊食」の時代を経て「飽食」、「崩食」の時代と揶揄され、食べ物が溢れるだけでなく、糖尿病患者やその予備軍が増加し、いわゆる生活習慣病が深刻な問題となっている。

こうした食を取り巻く社会環境が変貌する中で、食生活の改善、保健衛生に対する関心、健康づくりのための知識技術の啓発普及だけではなく、膨大な食に関する情報の中からの的確な情報を伝えることができる情報リテラシーを有する栄養士の需要が高まっている。

就職先については、過去4年間の栄養士資格を取得（見込を含む）していることを条件とした本学食物学専攻の求人票受理件数は73件（平成21年度）、87件（平成22年度）、126件（平成23年度）、103件（平成24年度）と推移している。1件の求人票で複数名の求人もあることなどから、今後も変更後の入学定員として予定している80名に対して、栄養士としての就職を斡旋するのに必要な求人確保できるものと見込まれる。また、業種の内訳を見ると、学校（公務員）、保育園、老人福祉施設、給食会社等の各種施設、家庭科教員、食品メーカー、研究機関等、多岐にわたり、学生の進路希望に沿った就職支援を行うことが可能である。

【資料1】 本学における直近5年間の食物学科食物学専攻の志願者数

年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
志願者数(志願率)	262(5.2倍)	337(6.7倍)	386(7.7倍)	319(6.4倍)	451(9.0倍)

【資料2】 本学における直近4年間の食物学科を受験した首都圏の受験生の出身校所在地

出身校所在地	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数
埼玉県	13	80	12	45	12	82
千葉県	9	48	9	47	7	75
東京都	16	124	22	91	18	148
神奈川県	5	31	3	32	4	49
計	43	283	46	215	41	354